

教科「理科」関連学会の動き

1 教科「理科」関連学会協議会とは

教科「理科」関連学会協議会は、1995年7月に初等・中等教育における「理科」に関して関連学会間の意見交換、及び調整をはかり、学校教育のよりよい発展を目指す目的で発足した。この協議会には、日本化学会、日本科学教育学会、日本生物教育学会、日本物理教育学会、日本地学教育学会、日本理科教育学会の6学会が参加している。

こうした科学（理科）関連学会の連絡会としては、理数系学会教育問題連絡会がある。この連絡会は科学各分野の専門学会が中心になって構成されているが、教科「理科」関連学会協議会は科学（理科）関連の教育学会から成り立っており、初等・中等理科教育の専門家を中心に構成されている点で上記連絡会とは異なっている。

会合は、各学会から2～3名の委員が参加し、ほぼ隔月に開催されている。日本化学会では、1997年から1999年まで佐野博敏氏（元 副会長）が議長として取りまとめ役を担当した。現在の議長は日本生物教育学会会長の松香光夫氏である。

2 これまでの活動

教科「理科」関連学会協議会発足当時は、今年度より小・中学校で施行されている教育課程の改訂に関して中央教育審議会などが活動していた時期であり、この協議会から1995年12月に中央教育審議会へ要望書を提出、1997年1月には中央教育審議会答申に対する意見書を具申、1997年3月には教育課程審議会に要望書を送付してきた。

また、各学会の相互理解を図るとともに、参加学会やこの協議会での意見を多くの方に知っていただくため、以下のとおり毎年シンポジウムを開催してきた。

- 第1回（1996年度）「次期教育課程に向けて
教科「理科」関連学会間の相互理解のために」
- 第2回（1997年度）「科学教育のあるべき姿を探る
次々期教育課程をも見据えて」
- 第3回（1998年度）「これからの理科教育に求めるもの」
- 第4回（1999年度）「日本の理科教育の現状と課題
高校と大学をつなぐ理科の内容」
- 第5回（2000年度）「教科『理科』を改めて問う」
（奈良教育大学にて日本生物学会年会と同時開催）
- 第6回（2001年度）「中学校理科の教科書をとらえて見た
理科教育の課題」

（千葉大学にて日本化学会秋季年会と同時開催）

これらのシンポジウムは、第4回まで東京地区で、教科「理科」関連学会協議会単独で開催してきたが、この協議会での活動をより広く知らせるために、地方での開催と参加学会年会での同時開催を企画し、2000年度の第5回シンポジウムより関連学会年会と同時開催が実現している。

今年度の第7回シンポジウムは以下に示すとおり、大阪大学で日本化学会第52秋季年会と同時開催する。多くの方のご来場をお願いする。

3 第7回シンポジウムプログラム

テーマ：「社会に出るために必要な理科の内容」

今回のシンポジウムは「学習のすすめ」の話題を背景に、子どもたちが社会に出る時までに学校教育の中で学ぶべき理科の内容とは何かを、問いかけるものとなりました。社会人のリテラシー、大学レベルでの検討、アジアから見たわが国の状況について、各シンポジストにご提案をお願いしました。新しくなった学習指導要領の是非論を超え、教科理科を構成する各学会から、またそれにとらわれない現場からの具体的な経験と発想を加えていただいで、あるべき理科の内容について議論をお願いしたいという企画です。

松香光夫（教科理科関連学会協議会議長・玉川大学：日本生物教育学会長）

日時：2002年9月28日（土）13時～17時

場所：大阪大学全学共通教育機構口号館大講堂

シンポジウム

1. 一般成人の科学リテラシーについて 科学技術に関する意識調査 : 岡本信司氏（静岡大学地域共同研究センター・日本科学教育学会推薦）
2. 理系基礎化学で何を教えるべきか：荻野和子氏（東北大学医療短期大学部名誉教授・日本化学会）
3. 海外理科教育事情 カンボジアでの生物教育 : 森本弘一氏（奈良教育大学・日本生物教育学会）
4. 総合討論

4 これからの活動

今年度は小・中学校、来年度からは高等学校で教育課程が改訂される移行期にあたるが、次の改訂も視野に入れて、次世代を担う子どもたちにとってのより良い理科の内容を考えていくために、今回の学習指導要領では範囲外となった内容でも、教科書の執筆者が重要と考えて入れようとした内容については吟味しておく価値があると考えられる。

そこで、今回の教科書作成段階で削除された内容について調査し、整理する活動をこの協議会として行うこととした。

松原静郎（国立教育政策研究所）
教科理科関連学会協議会委員

教科（理科）関連学会協議会：日本化学会・日本化学会
化学教育協議会・日本科学教育学会・日本生物教育学会・
日本物理教育学会・日本地学教育学会・日本理科教育学会